

2018年度 八洲学園高等学校 第三者評価

第三者評価

氏名(ふりがな) 伊藤京子

経歴 公立学校共済組合 関東中央病院 精神科 精神保健福祉士 作業療法士

評価日時: 2019年 5月 21日

【2018年度八洲学園高等学校自己評価報告書(結果)の評価】

目標(ねらい)において、教職員全体が一つの目標に向かって協力されていることが、第三者側からも感じられると思います。

その理由として、支援を要する子ども達を中心とした就労支援の取り組みにおいて、教職員の研究の熱心さ、また、学校内外にある資源を組織として、第三者側からの意見やアドバイスも真摯に受け止め、実行されていることから伺えるかと思います。

しかし、その反面、教職員の仕事の負荷量が多くなりかちのように思えます。教職員の連携において、情報共有や仕事の効率化など、今後も検討していただければと思います。

# 2018年度 八洲学園高等学校 第三者評価

## 第三者評価

氏名（ふりがな） 林尻 悟（はやしじり さとる）

経歴 一般社団法人 障がい者・高齢者じりつ支援機構 理事長  
株式会社ジョラスコーポレーション 代表取締役社長

評価日時：2019年 5月 1日

### 【平成30年度八洲学園高等学校自己評価報告書（結果）の評価】

#### 【講 評】

生徒に対する「諦めたくない」という思いのこもった学校運営、教育内容であり、広域通信制高等学校としてあるべき姿を模索しながら、生徒の実態やニーズに合わせた特色ある学びの場を提供している。

平成29年度、平成30年度と生徒への可能性を探求する“支援を要する子ども達に社会的自立が出来るようになるプログラム”を通じ、研究を行っている。文科省推進事業である「多様な学習を支援する高等学校の推進事業」をとおして、生徒が将来、自立を目指せるよう新しい教育活動の取り組みを行っている。生徒の興味・関心を全力で支援し生徒の多様な希望にきめ細かい対応を目指しており、教員の意欲、学校の姿勢も評価したい。

推進事業から支援を要する生徒の成長を全力でサポートする熱意と誠実さに裏付けられた教員のプロ意識を評価するものである。今後も引き続き、社会に信頼され支持されるよう、生徒と保護者、地域と連携を十分にとりながら指導の充実を図っていくことを期待したい。

教員の教育や研修体制、指導体制についても学校運営における教職員の資質向上と活性化につながっており、生徒への活力に影響を与えていると考えるものの、一方で、地域や保護者への連携を強化することで、尚一層、学校の取り組みが認知され、協力も得られ新しい取り組みの環境が整えられ成果が出るものと期待する。

教員研修についても積極的に行っており評価できるが、今後「支援を要する子ども達への就労支援の取り組みの研究」など新たな教育活動を行うにあたり、地域や保護者等との連携で社会資源を活用し、保護者とも積極的に連携を行ってほしい。今までも、生徒の社会性・キャリア意識を育む工夫が系統的になされており、きめ細かく粘り強い指導を特色である多面的な観点からのアプローチを活かして生徒の多様な希望に応えていけるものと期待が出来る。

教育内容の評価から判断できるのは常に改善を目指し、努力している姿勢の表れと評価したい。